

科目名	カラーリングデザイン	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生			
講師名	元山、イシカワ、佐々木、 木村、稲垣、水野、由田	講師 プロフィール	札幌美容師室bud 政府認定髪カリスマサロン z世代を中心にトレンドを生み出しているヘアショーや講師など幅広く活動する。							
【授業を通じての到達目標】										
カラーの基礎知識を身につけ実践できるようになる。										
【学習内容】										
カラー基礎理論・技術を学ぶ・カラー道具を使いこなす										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
カラーに必要な道具・ウィッグ・クランプ・はけ・カップ・マドラー タオル・グローブ等					イメージシート作成、デザインのスケッチ					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/1 7.18.20)	【到達目標】 サロン紹介、自己紹介、シラバスの説明、理想の美容師像について、カラージュ作成				⑨ (6/19.20. 22)	【到達目標】 ブリーチカラー理論、デモ				
② (4/2 4.25.27)	【到達目標】 カラー理論、色の三原色、カラー材の種類などカラーの基礎知識の理解し、より身近にサロンカラーを感じられるようになる。酸化染毛剤の原理及び仕組み				⑩ (6/26.27. 29)	【到達目標】 実際にウィッグにブリーチをする				
③ (5/8.9.1 1)	【到達目標】 ワンカラー実技。刷毛の使い方、塗布の練習、基礎的なワンカラーの塗り方をトリートメントを使って説明、練習。				⑪ (7/3.4.6)	【到達目標】 ブリーチ60分塗布。タイムを測って塗布練習、フィードバック				
④ (5/15.1 6.18)	【到達目標】 ウィッグに実際にカラー材を使ってトーンアップしていく。				⑫ (7/10.11. 13)	【到達目標】 ブリーチオンカラー理論、デモ。ブリーチオンカラー理論を勉強後、実際に塗って説明				
⑤ (5/22.2 3.25)	【到達目標】 カラー剪定方法、リタッチ理論				⑬ (8/21.22. 24)	【到達目標】 ブリーチオンカラー。実際にウィッグを使ってオンカラー				
⑥ (5/29.3 0.6/1)	【到達目標】 相モデル①トリートメント塗布				⑭ (8/28.29. 31)	【到達目標】 テスト練習、復習。筆記カラー理論について。				
⑦ (6/5.7.8)	【到達目標】 相モデル②トリートメント塗布				⑮ (9/4)	【定期試験】60 テスト 筆記テスト				
⑧ (6/12.1 3.15)	【到達目標】 トーンダウン理論説明、ウィッグに塗布。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
ヘアカラーに関心を持ち、薬剤の注意点を理解する										

講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在はヘアメイク科を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の科目である文化論の内容を計画的に学ぶことで、スタイリストとしての知識を深めることを目標とする。									
【学習内容】									
文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書文化論、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (5/12)	【到達目標】 文化論が国家試験の必須科目であることを理解する。美容がどのように社会と関わっているかを考える。美容の定義、語義について学ぶ。				⑨ (7/14)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する③			
② (5/19)	【到達目標】 日本の理容業・美容業の歴史について、その発生・制度・動向を学び理解する。				⑩ (7/21)	【到達目標】 現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①			
③ (5/26)	【到達目標】 縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。				⑪ (8/25)	【到達目標】 現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②			
④ (6/2)	【到達目標】 中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世Ⅰ【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑫ (9/1)	【到達目標】 現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			
⑤ (6/9)	【到達目標】 近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑬ (9/8)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			
⑥ (6/23)	【到達目標】 近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑭ (9/15)	【到達目標】 現代Ⅳ【2000年代以降】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			
⑦ (6/30)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①				⑮ (9/29)	【定期試験】60 日本のファッション文化について特徴を理解しているか。4択問題を中心に出題。			
⑧ (7/7)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。									

講義シラバス

科目名	美容総合(シャンプー・サロンワーク&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田翔太郎・土井恵美 藤なつき・佐藤亜紀	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。現在も美容師・ヘアメイクとして働く傍ら、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる技術スキル・人間力を授業を通して学生に伝えていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロン入社後、即戦力となるシャンプー、カラー、パーマ、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力を身につけるとともに美容師としての在り方、考え方を学ぶ。									
【学習内容】									
シャンプー、トリートメント、ドライ、ブロー、スタイリングの基礎技術を学ぶ。 サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を実践しながら学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤					定期的な宿題がある場合も有				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/25) (9/29)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライ、スタイリングの流れを実践してできるようになる。(相モデル)				⑨ (11/27) (12/1)	【到達目標】 時間内でシャンプーの技術ができるようになる。(相モデル) 中間チェック:15分			
② (10/2) (10/6)	【到達目標】 サロンワークに必要なコミュニケーション力について理解する。 会話の引き出しを増やし実践できるようになる。				⑩ (12/4) (12/8)	【到達目標】 就職活動のサロンワーク試験を意識した動きを理解する。			
③ (10/16) (10/13)	【到達目標】 コミュニケーションを意識したサロンワークの流れを実践できるようになる。 シャンプー～スタイリングまでの実践。				⑪ (12/11) (12/15)	【到達目標】 髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデル) アイロンワークの技術を身につける。			
④ (10/23) (10/20)	【到達目標】 サロンワークの一連の流れを理解する。				⑫ (12/18) (12/22)	【到達目標】 サロンワークの一連の流れを理解する。 学内サロンに向けた準備ができる。			
⑤ (10/30) (10/27)	【到達目標】 パーマの技術について理解する。(ウィッグで手順を確認)				⑬ (1/15) (1/12)	【到達目標】 定期試験に向けてトレーニング。 スタイリングのコンセプトを考える。			
⑥ (11/6) (11/10)	【到達目標】 課題対応 サロンワークに必要な知識を理解する。				⑭ (1/22) (1/19)	【到達目標】 定期試験 シャンプーからスタイリングまでを時間内で行う。 コンセプトに合わせたスタイリング。			
⑦ (11/13) (11/17)	【到達目標】 業界のプロからスタイリングについての技術を学び理解する。				⑮ (2/8・2/9)	【定期試験】60 学内サロン運営 2月8日(木)・2月9日(金) ご家族・ご友人を招待して1年間学んだ技術を実践することができる。			
⑧ (11/20) (11/24)	【到達目標】 タイムを意識したシャンプーの動作を理解する。(相モデル) シャンプー:15分				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

科目名	衛生管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師として20年以上手術室、外科系の病院に勤務。その後フリーランスに転身。病気、けがの対処など教えられます						
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。									
【学習内容】									
美容師に必要な公衆衛生、環境衛生の基礎を理解し、授業をととして知識を習得していくことができる。パワーポイント、教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書・プリント・国家試験過去問題									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 自己紹介を通してお互いを理解していく。なぜ公衆衛生学の学習が必要か理解する				⑨ (6/21)	【到達目標】 環境衛生の概要について内容、目的と意義環境活動について理解する			
② (4/27)	【到達目標】 公衆衛生の意義と課題、公衆衛生の歴史について理解する				⑩ (6/28)	【到達目標】 空気環境について知識を深め理解する			
③ (5/10)	【到達目標】 理容師・美容師との公衆衛生がなぜ深く関わりを持つようになったのか、保健所と理容業・美容業の関わりについて理解する				⑪ (7/5)	【到達目標】 衣服・住居の衛生について理解する			
④ (6/17)	【到達目標】 母子保健、成人、高齢保健について知識を高め理解する				⑫ (7/12)	【到達目標】 上下水道と廃棄物について知識を深め理解する			
⑤ (5/24)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する。(パワーポイント、プリント使用)				⑬ (8/23)	【到達目標】 衛生害虫とネズミ、環境保全について知識を深め理解する。(パワーポイント、プリント使用)			
⑥ (5/31)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する				⑭ (8/30)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テストに備える			
⑦(6/14)	【到達目標】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する。				⑮ (9/6)	【定期試験】50 衛生管理1編「公衆衛生」、2編「環境衛生」から出題。			
⑧ (6/21)	【到達目標】 精神保健について知識を深め理解する				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
授業内容を理解する。遅刻授業態度の指導					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	トップスタイリスト専攻		学年	1年生			
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き29年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技授業及びコンテスト指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師としての必要な基礎知識を身につけて、一層興味深く学ぶ意欲を育むことを目標とする。

【学習内容】

美容に関する専門用語・道具・名称・技術手順など、教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①教科書 ・B5判ノート(専用ノート) ・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/20)	<p>【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 授業内容の説明</p> <p>美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。(なぜ必要な知識か考える)</p>	⑨ (6/22)	<p>【到達目標】</p> <p>②パーマメントウェーブ技術の手順を学び理解する。</p>
② (4/27)	<p>【到達目標】</p> <p>美容用具の名称・選定法・手入れ法・使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験)</p>	⑩ (6/29)	<p>【到達目標】</p> <p>①ヘアカラーリング剤の種類と染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。</p>
③ (5/11)	<p>【到達目標】</p> <p>①シャンプーの目的など施術によって使い分ける技術・シャンプー剤の種類を学び理解する。(エアシャンプー姿勢など体験)</p>	⑪ (7/6)	<p>【到達目標】</p> <p>②酸化染毛剤の技術手順とヘアブリーチの違いとポイントを学び理解する。</p>
④ (5/18)	<p>【到達目標】</p> <p>②リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スキャルプトリートメント・スキャルプマッサージを学び理解する。(ウィックを使用してマッサージを体験)</p>	⑫ (7/13)	<p>【到達目標】</p> <p>①ヘアセッティング/オールウェーブセッティングの実技に必要な基礎知識を学び理解する。</p>
⑤ (5/25)	<p>【到達目標】</p> <p>ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。</p>	⑬ (8/24)	<p>【到達目標】</p> <p>②ヘアセッティング/ブロードドライやバックコーミングに必要な基礎知識を学び理解する。</p>
⑥ (6/1)	<p>【到達目標】</p> <p>①ヘアカッティングの目的・基礎理論を学び理解する。(スライス線と長さの関係を体験)</p>	⑭ (8/31)	<p>【到達目標】</p> <p>美容技術理論①の重要ポイントの強化、復習を中心に進めて定期試験対策を集中的に行う。</p>
⑦ (6/8)	<p>【到達目標】</p> <p>②ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。</p>	⑮ (9/7)	<p>【定期試験】60点</p> <p><定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。</p>
⑧ (6/15)	<p>【到達目標】</p> <p>①毛髪の構造とパーマメントウェーブが形成される仕組みを学び理解する。(パーマ剤の種類と特徴)</p>	<p>【成績評価の方法と基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	運営管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	島 一浩	講師 プロフィール	[職歴] 1984年～2021年：地方公務員(市役所職員) 2021年～：研修講師、経営コンサルタントなど [資格・学位] 国家資格キャリアコンサルタント、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)、NLPプラクティショナーなど MBA(経営管理修士)						
【授業を通じての到達目標】									
・美容師国家試験に合格することを目指し、筆記試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答できる能力を身に付ける ・美容師として、また、社会人として活躍するために必要となる社会的な基礎知識を身に付ける									
【学習内容】									
・美容師国家試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答するために必要な知識・考え方のポイントを習得する ・「経営者」「従業員」「顧客」の3つの視点から美容業についての理解を深め、美容師として活躍し、顧客を満足させるサービスの担い手となるための知識を習得する ・社会人として活躍するために必要な基礎知識を習得し、社会活動への適応力を身に付ける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
運営管理の教科書、パワーポイントのスライド、補足プリント					宿題・課題は課さないが、適宜、予習・復習を行うこと ・予習～各授業での履修範囲について、教科書の本文を一読する ・復習～各授業の補足プリントの見直しを行う				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 ・「運営管理」の授業について、「授業を通じての到達目標」、「学習内容」、「履修に当たっての心構え・留意点」などについて理解する ・授業の構成や全体の計画について理解する ・授業への積極的な参加を促し、知識の効果的な習得を実現するために必要なコミュニケーション力を身に付ける(グループワークによるコミュニケーションのトレーニング)				⑨ (6/21)	【到達目標】 ・「社会保険(医療保険)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.68～p.73 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第3節 社会保険② 医療保険			
② (4/26)	【到達目標】 ・「経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.8～p.17 第1編 経営者の視点 — 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 経営とは何か ～ 第6節 経営戦略②				⑩ (6/28)	【到達目標】 ・「社会保険(労働保険)及び美容師としてのキャリアプラン・役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.74～p.83 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第4節 社会保険③ 労働保険 ～ 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと			
③ (5/10)	【到達目標】 ・「美容業の経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.18～p.33 第1編 経営者の視点 — 第2章 美容業・美容業の経営について 第1節 業界の概要 ～ 第5節 美容業・美容業の顧客				⑪ (7/5)	【到達目標】 ・「美容業におけるサービス・デザイン」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.100～p.119 第3編 顧客のために — 第1章 サービス・デザイン 第1節 サービスを考えるうえで重要なこと ～ 第7節 新しいサービスをデザインしてみよう			
④ (5/17)	【到達目標】 ・「美容業の経営における資金の管理(資金管理・会計・コスト管理)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.34～p.41 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第1節 資金管理の重要性 ～ 第4節 コストを管理する				⑫ (7/12)	【到達目標】 ・「美容業におけるマーケティング」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.120～p.137 第3編 顧客のために — 第2章 サービス・マーケティング 第1節 美容業・美容業のマーケティング ～ 第7節 情報コミュニケーション技術の活用について			
⑤ (5/24)	【到達目標】 ・「美容業の経営における資金の管理(税金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.42～p.45 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第5節 税金について ～ 第6節 税金の申告				⑬ (8/23)	【到達目標】 ・「美容業のサービスにおける人の役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.138～p.157 第3編 顧客のために — 第3章 サービスにおける人の役割 第1節 接客についての理解 ～ 第9節 問題を深刻化させないための対策・対処			
⑥ (5/31)	【到達目標】 ・「美容業について、人(従業員)のマネジメント」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.48～p.61 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第1章 人という資源 第1節 人という資源とは ～ 第6節 労働者の権利				⑭ (8/30)	【到達目標】 ・「美容業の運営管理」の全般について復習し、要点の確認・知識の定着を図る [教科書の範囲] p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑦ (6/7)	【到達目標】 ・「美容業について、従業員の健康・安全・責任」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第3章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 健康管理の基礎 ～ 第4節 美容・美容の作業環境に関する健康問題 p.84～p.97 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第1節 社会人としての責任・美容業・美容業の従業員としての責任 p.62～p.63				⑮ (9/6)	【定期試験】 ・「美容業の運営管理」の全般について、試験による習得度の測定を行う [出題範囲] 教科書 p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑧ (6/14)	【到達目標】 ・「社会保険(公的年金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.64～p.67 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第2節 社会保険① 公的年金				【成績評価の方法と基準】 ・成績評価の方法 小テストと定期試験の合計点数により評価する ・成績評価の基準 [評価配分] 小テスト：40点 定期試験：60点 合計：100点 [評価区分] 【合格】A(90～100点) / B(80～89点) / C(70～79点) / D(60～69点) 【不合格】E(出席不良・評価資格喪失) / F(0～59点)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
<授業への出席> 欠席、遅刻、早退がないように心掛けること <授業への参加態度> 講師と学生、学生同士の良好なコミュニケーションと協調性に留意すること <必要な持ち物> 教科書、筆記用具・ノートなど									

講義シラバス

科目名	美容実習(カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	牛戸 協子	講師 プロフィール	札幌市内で複数店舗を経営する美容室に入社後、アシスタント・トップスタイリストを経て、20代前半でマネージャーを経験し、結婚退社。復帰後はフリーで活動しながらベルエポックで講師も務めている。現在は顧客:メディア関係のヘアセットも手がけるなど、幅広く活動中。						
【授業を通じての到達目標】									
基本となる何種類かのカットスタイルの切り方を習得し、creativeなカットスタイルまで出来るようになる。									
【学習内容】									
実際にウイッグを使ってカットし、ブロー・スタイリングまで学んでいく									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式(シザー、コーム、ダッカール、スプレイヤー、デンマンブラシ、ドライヤー、タオル4枚程度)									
週	授業計画				日時	授業計画			
1	【到達目標】 ・年間の授業の進み方を理解する ・シザーの開閉の習得 ・ブロッキングの練習				9	【到達目標】 ・same layerを使ってメンズのカット&スタイリングが出来るようになる			
2	【到達目標】 same layer ・展開図を理解出来るようになる				10	【到達目標】 ・creativeな作品を身近に感じ、感性・創造性・独創性を身につける			
3	【到達目標】 same layer ・切り方を理解してカットしてみる				11	【到達目標】 one length ・ワンレングスの切り方・ブローを理解し切れるようになる(コーム)			
4	【到達目標】 same layer ・指定された長さに切れるようになる				12	【到達目標】 one length ・ワンレングスの切り方・ブローを理解し切れるようになる(フィンガー)			
5	【到達目標】 same layer ・ブローのやり方を理解出来るようになる				13	【到達目標】 ・試験に向けてのカットスタイルを考え練習する			
6	【到達目標】 same layer ・指定された長さにカットしブローまで出来るようになる				14	【到達目標】 ・試験の内容を理解し、時間内にカットできるよう練習する			
7	【到達目標】 bangs(前髪) 何種類かのバンクを理解し切れるようになる				15	【定期試験】 ・決められたテーマを基に時間内にカット&スタイリングまでする			
8	【到達目標】 ・刈り上げ、ブロックを理解し切れるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ヘアアレンジ&メイクアップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		

講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場やファッションショー、舞台、ドラマ、プライダルなどのモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々へのヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の四大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加するなど、海外まで活躍の幅を広げているアーティストが14名所属するヘア名事務所です。						
-----	------------	--------------	---	--	--	--	--	--	--

【授業を通じての到達目標】									
美容業界でプロを目指す上で、必要とされる基本的なメイク技術を習得する									

【学習内容】									
美容師に必要なメイク技術を学び、仕事に生かせる作品作りをする									

【使用教科書・教材・参考図書】	【授業時間外における学習・宿題・課題など】
メイク道具一式、ヘア道具一式、筆記用具、ノート	

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18.2 1)	【到達目標】 オリエンテーション・自己紹介・授業内容の説明。道具の名所を覚え、セッティングまでができるようになる。	⑨ (6/20.23)	【到達目標】 ラメやグリッターを使ったアイメイクが出来るようになる
② (4/25.2 8)	【到達目標】 メイクのデモンストレーションを見せ、道具の使い方や撮影のメイク方法を知る事が出来る。	⑩ (6/27.30)	【到達目標】 韓国メイクの特徴を知り、メイクをすることができる
③ (5/9.12)	【到達目標】 セルフメイクスキンケア～ベースメイク・ハイライト・シェーディングまでの手順を学びセルフメイクのできるようになる。	⑪ (7/4.7)	【到達目標】 中国メイクの特徴を知り、メイクをすることができる
④ (5/16.1 9)	【到達目標】 セルフメイクスキンケア～アイメイクまでの手順を学びセルフメイクのできるようになる	⑫ (7/11.14)	【到達目標】 ヘアセット ポニーテールアレンジが出来るようになる
⑤ (5/23.2 6)	【到達目標】 スキンケア～チーク・リップ・ハイライト・シェーディングまでの手順を学びセルフメイクのできるようになる	⑬ (8/22.25)	【到達目標】 ヘアセット 編みおろしアレンジが出来るようになる
⑥ (5/30.6 /2)	【到達目標】 ヘアセット ウィッグでアイロンを使ってダウンスタイルを作ることが出来る	⑭ (8/29.9/ 1)	【到達目標】 カラーを選び、カラーメイクが出来るようになる
⑦ (6/6.9)	【到達目標】 ヘアセット ウィッグでアイロンを使ってハーフアップを作ることが出来る。	⑮ (9/5.8)	【定期試験】60 テーマ・コンセプトに基づいてメイクを60分で仕上げる

⑧ (6/13.1 6)	【到達目標】 編み込みの種類を学び、色々な編み込みが出来るようになる	【成績評価の方法と基準】		
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 		
【履修に当たっての心構え・留意点】				

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	土井 恵美	講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。 札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当 コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格も保有しています						
【授業を通じての到達目標】									
プロフェッショナルへの道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する よりよい学校生活を送るための身構え、気構え、心構えを身に付ける コミュニケーションスキルアップ検定合格を目指す									
【学習内容】									
目標設定をして振り返りを行う 社会人の基礎力を身に付け、2年生の就職活動に向けての基本、知識を学びます									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具 "就職活動"冊子・"新社会人の基礎力"冊子(この2冊は常に準備しておくこと) →最初の授業で担任から配布します									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/20)	【到達目標】 オリエンテーション クラス、個人の目標設定 シラバス・学年スケジュール確認 就活の教科書配布 ～社会人と学生の違いについて～				⑨ (6/22)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業②(中城先生)			
② (4/27)	【到達目標】 就活の教科書 ～業界について知ろう～ GWの課題確認 セレクト授業について				⑩ (6/29)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業③(中城先生、岩淵先生)			
③ (5/11)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より①				⑪ (7/6)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業④(模擬試験)			
④ (5/18)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より②				⑫ (7/13)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定 試験日 夏休み課題確認			
⑤ (5/25)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より③				⑬ (8/24)	【到達目標】 夏休み課題提出 夏休みの宿題プレゼンテーション			
⑥ (6/1)	【到達目標】 Hand of LIFE STYLEの教科書より プロの職業人教育を目指すにあたって①②				⑭ (8/31)	【到達目標】 初の定期試験に向けて再度細かいルールの確認 新社会人基礎力の教科書より④(園田先生)			
⑦ (6/8)	【到達目標】 Hand of LIFE STYLEの教科書より プロの職業人教育を目指すにあたって③④				⑮ (9/7)	【定期試験】60 定期試験 新社会人の基礎力より出題 入学して半年経って振り返りの提出 今後の予定の確認(レクレーション、2年生ベルコンについて)			
⑧ (6/15)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業①(中城先生)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
基礎を身につけ 完成度を高める									
【学習内容】									
一つ一つ技術を理解し レベルを上げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/26・27)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑨ (11/21・22)	【到達目標】 距離感、姿勢を意識して巻くことができる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分			
② (10/3・4)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑩ (11/28・29)	【到達目標】 面に艶があり ロッド幅に毛が広がっている センター 7分 ・右BS 9分 ・左BS 8分			
③ (10/11・12)	【到達目標】 センターのバランス確認 左BS 上巻き、下巻き バランス良くスムーズに巻ける				⑪ (12/5・6)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
④ (10/17・18)	【到達目標】 センター、右BSのバランス確認 左右のBSバランス良く シンメトリーに巻き収められる				⑫ (12/12・13)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
⑤ (10/24・25)	【到達目標】 根本よりしっかりとシェーブができ 面に艶があり シンメトリーに巻き収められる				⑬ (12/19・20)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある 全頭 25分			
⑥ (10/31・11/1)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 12分 ・左BS 10分				⑭ (1/16・17)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある、正確なゴム掛けができる 全頭 25分			
⑦ (11/7・8)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 11分 ・左BS 9分				⑮ (1/23・24)	【定期試験】50 1年間で習得した技術を正確に巻く 時間内完成 25分			
⑧ (11/14・15)	【到達目標】 センターを真っすぐにバランスよく収められる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	保健	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師は髪や頭皮など人の体に直接触れる仕事であるので、人の体の構造や機能について理解を深め、知識が習得できる。国家試験に対応できる知識が習得できる。									
【学習内容】									
教科書を中心とし、人の体の各部の名称、構造、機能について解説し、練習問題や小テストを行い学習していく。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
保健教科書・プリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 シラバスを理解する。人体の各部に関して、解剖学的についている名称について知ることができる。				⑨ (6/21)	【到達目標】 感覚器の聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚について理解できる。耳には、聴覚と平衡感覚というはたらき、舌には味覚、鼻には嗅覚というはたらきがらることを学習し、知識が習得できる。(各部の名称を覚えることができる)			
② (4/26)	【到達目標】 美容師に関連の深い頭部、顔部、頭部の各部位の名称について学習し知識が習得できる。				⑩ (6/28)	【到達目標】 人体の血液・循環器系について理解できる。血液の組成、心臓と血管の各部の名称とはたらきについて学習し、知識が習得できる。			
③ (5/10)	【到達目標】 人体の骨格系の構造について理解できる。骨の種類と構造、はたらきについて学習し知識が習得できる。				⑪ (7/5)	【到達目標】 循環器系で血液が心臓、血管を流れる経路、リンパについて学習し知識が習得できる。			
④ (5/17)	【到達目標】 頭蓋、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨について、各部の名称、はたらきについて知識が習得できる。				⑫ (7/12)	【到達目標】 人体の呼吸器系について理解できる。肺の構造と呼吸運動によるガス交換の行われる仕組みを学習し、知識が習得できる。			
⑤ (5/24)	【到達目標】 人体の筋の種類とその特徴が理解できる。主な骨格筋について各部の名称、はたらきについて知識が習得できる。				⑬ (8/23)	【到達目標】 人体の消化器系について理解できる。消化器系のあらまし、消化管の各部の名称や仕組みを学習し、知識が習得できる。			
⑥ (5/31)	【到達目標】 頭部の筋である表情筋について理解できる。表情筋と表情運動を学習し、人の表情を作る筋について理解し、覚えることができる。				⑭ (8/30)	【到達目標】 消化管のはたらき、消化と物質代謝、消化酵素について学習し、知識が習得できる。			
⑦ (6/7)	【到達目標】 人体における神経系について理解できる。神経は身体の動きに関係するとともに、体内諸器官の動きを調節していることを学習する。中枢神経、末梢神経、体性神経、自律神経について知識が習得できる。				⑮ (9/6)	【定期試験】60 人体の構造と機能(第1章～第8章)の範囲で筆記試験			
⑧ (6/14)	【到達目標】 感覚器の視覚について理解できる。眼は小さな器官であるがきわめて複雑な構造をもっている。見ることである視覚について眼の各部の名称とはたらきについて学び知識が習得できる。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の管理と指導。忘れ物、授業態度の指導。									